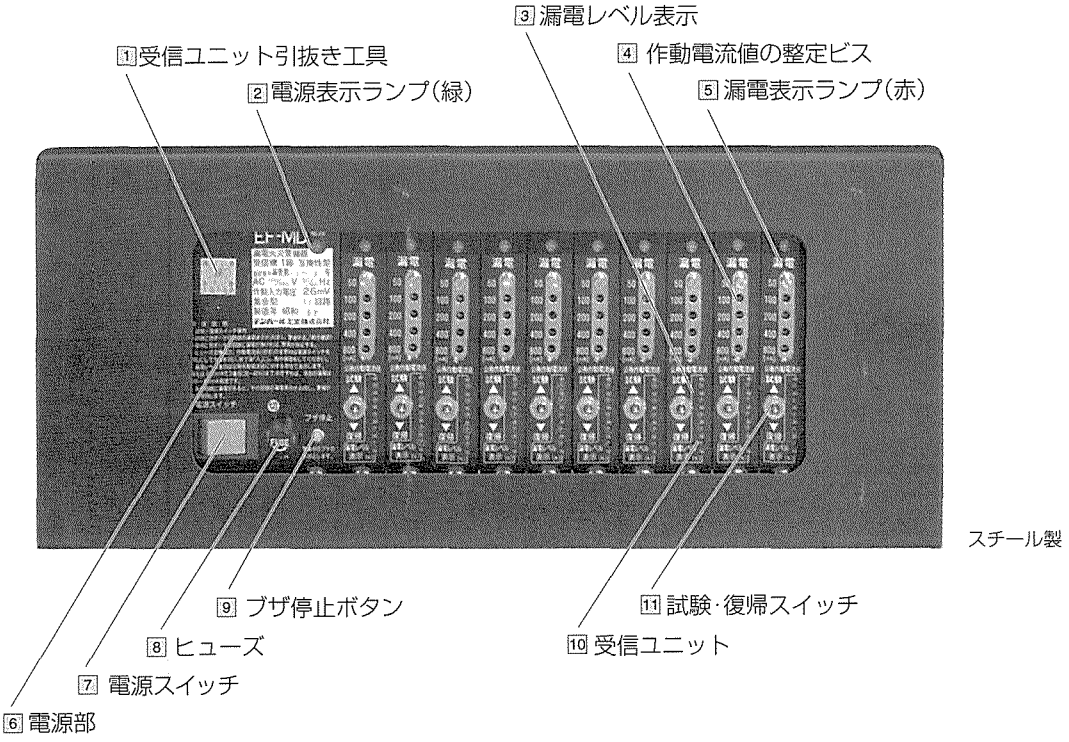
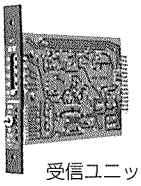
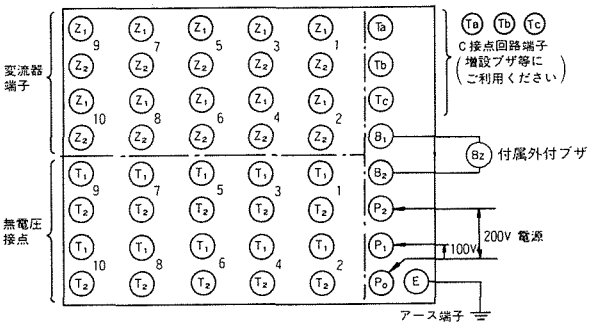
EF-MDA ■集合型10回路／埋込形／国家検定合格品



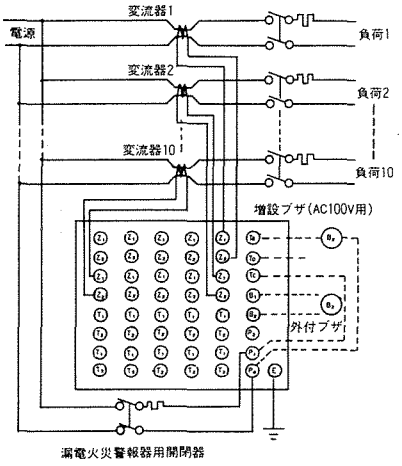

受信ユニット

端子配列

注意■電源は200Vの時P_0-P_2、100Vの時P_0-P_1に接続してください。
■Z_1-Z_2(1～10)は変流器端子ですので電圧をかけないでください。
■T_1-T_2(1～10)は各回路ごとのa接点端子です。
■T_a-T_b-T_cは共通のC接点回路端子で増設ブザー等にご利用ください。



■接続例



各部の説明

1 受信ユニット引抜き工具：受信ユニットはプラグイン式です。この引抜き工具で引出してください。

2 電源表示ランプ(緑)：受信機の電源が入っていることを示します。点灯しない場合はヒューズ、電源スイッチ、専用開閉器を確認してください。

3 漏電レベル表示：現在の漏電状態を設定作動電流値に対する割合で順次点灯します。受注仕様として漏電レベル表示なしも可能です。

4 作動電流値の整定ビス：設定する電流値のネジ穴に確実に整定ビスをネジ込んでください。整定ビスがゆるんだ状態では50mA感度となります。設定する場合は、電源スイッチを図にしてください。

5 漏電表示ランプ(赤)：漏電が発生するとランプが点灯し自己保持します。

6 電源部

7 電源スイッチ：受信機の制御電源を入図できます。ヒューズ取替時、作動電流値の変更時に図にして作業してください。常時は入にしておいてください。

8 ヒューズ：ガラス管ヒューズMF51(ø5)、1.5Aを使用してください。

9 ブザ停止ボタン：警報中に押すとブザのみ停止します。各ユニットの警報が復帰すれば、ブザ停止も自動復帰するので、次に漏電が生じたときもブザは鳴ります。

10 受信ユニット：プラグイン構造なのでメンテナンスが容易にできます。表示はすべて発光ダイオード(LED)使用。

11 試験·復帰スイッチ
■試験(上方向)：本体の動作確認及び変流器の導通試験ができます。
■復帰(下方向)：漏電がなければ警報が復帰します。